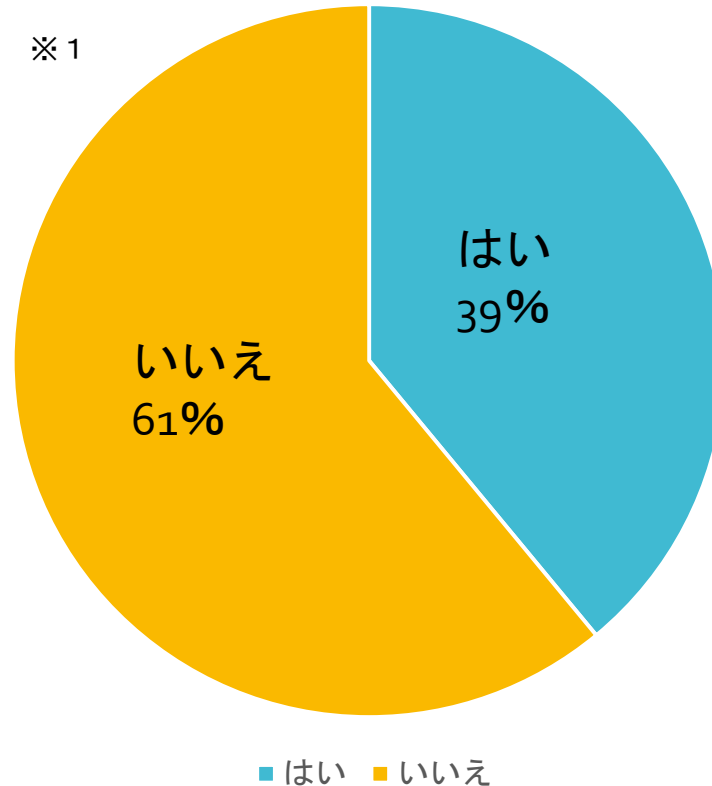


大学生 × 市民 ゴミ減量を目指す

山口大学工学部感性デザイン工学科2年
猪井 柴崎 谷本 東村 吉田

大学生の 意識調査

日常で3Rを感じたことがある



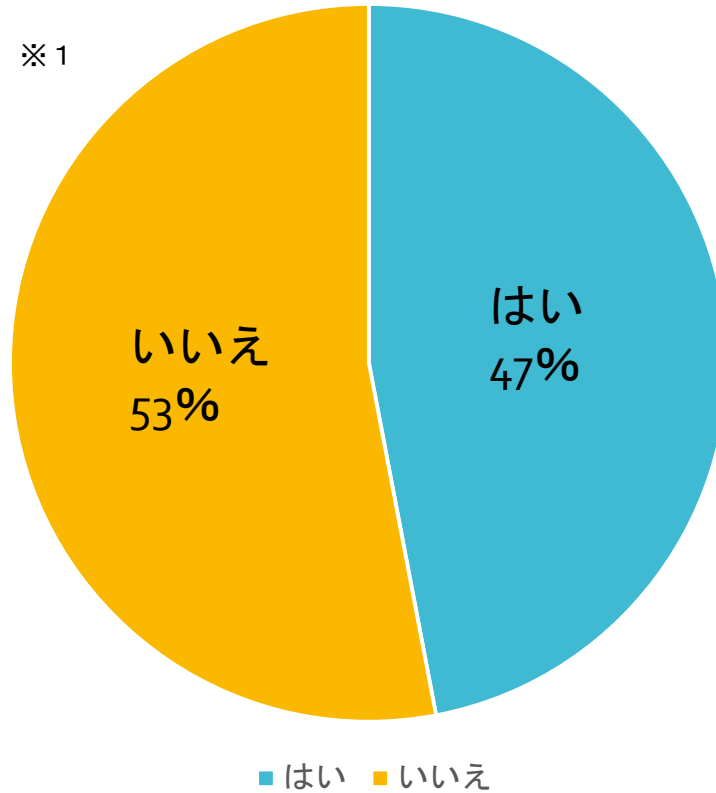
具体的な意見

- ・スーパーの資源回収Box
- ・日用品や文房具に再生紙が使われていた
- ・中古ショップやメルカリ
- ・ゴミを出すとき資源ごみは別回収だった

※1 令和元年9月14日から9月16日に山口大学生57名を対象に行ったアンケートより

大学生の意識調査

学校生活を送る中で
「これもったいないなあ」と感じたことがある



具体的な意見

- ・ 計算用紙として使った紙がたくさん捨てられているとき
- ・ 使い切らずにいるノート
- ・ 進級していらなくなった教科書
- ・ 授業時に一人一人に配布されるプリント
- ・ 学食にある使い捨ての箸

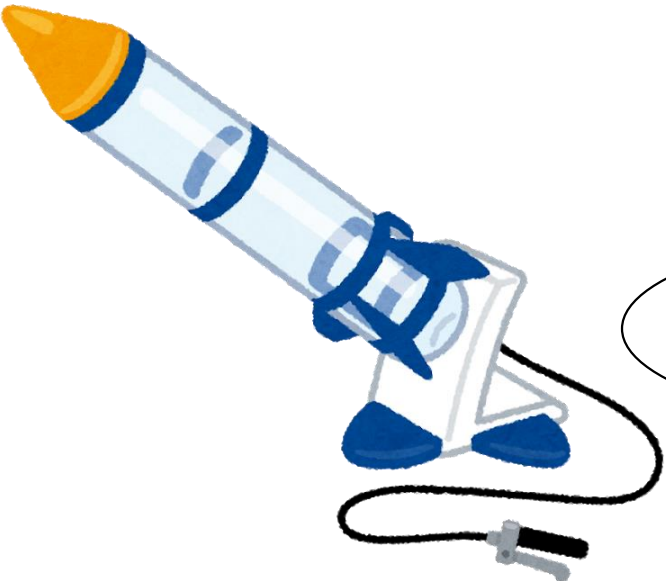
※1 令和元年9月14日から9月16日に山口大学生57名を対象に行ったアンケートより

「ゴミをゴミ
にしない」
活用法



ペットボトル
植木鉢

ブックカバー



ペットボトル
ロケット

ペットボトル
の活用法
～大型～



Robert Bezeauによるペットボトルハウス

市民
×
工学部
建築学専攻



TOKIWA キャンパス マーケット 企画案

ターゲット

宇部市在住の小～高校生とその親御様
ハンドメイド・ワークショップに興味がある方



コンセプト

3R を実感・体験する

目的

ゴミ問題について**体験**を通し個人の意識を促す。



①ワーク ショップ 企画内容編

- ・ ペットボトルロケット/ペットボトルロボット制作体験
- ・ 再生可能資源で貯金箱制作体験
- ・ 海ゴミ（シーガラス等）でアクセサリ制作体験
- ・ 古紙・牛乳パックで絵ハガキ/ブックカバー制作体験

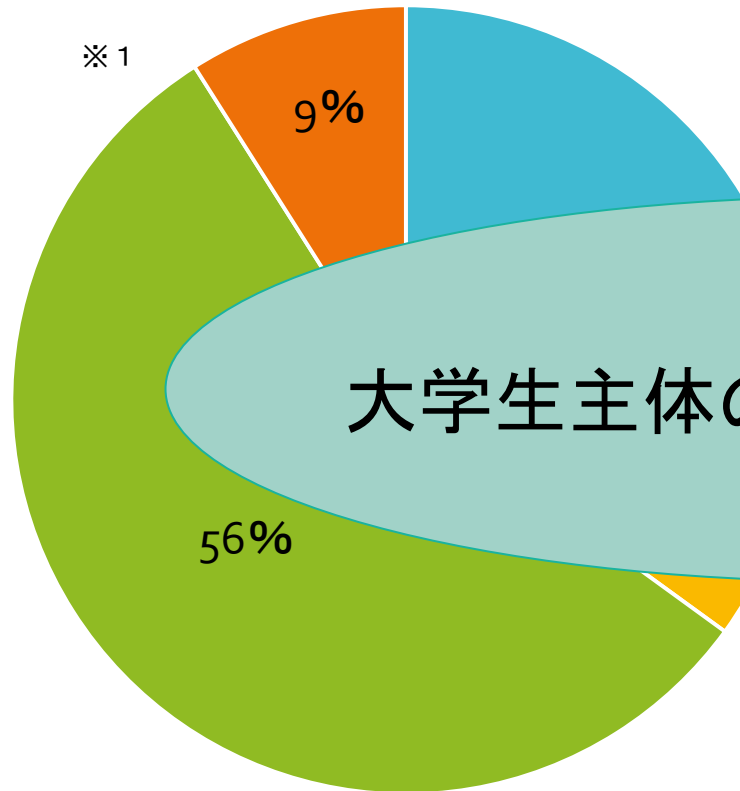


大学生 × 子供・子育て世代

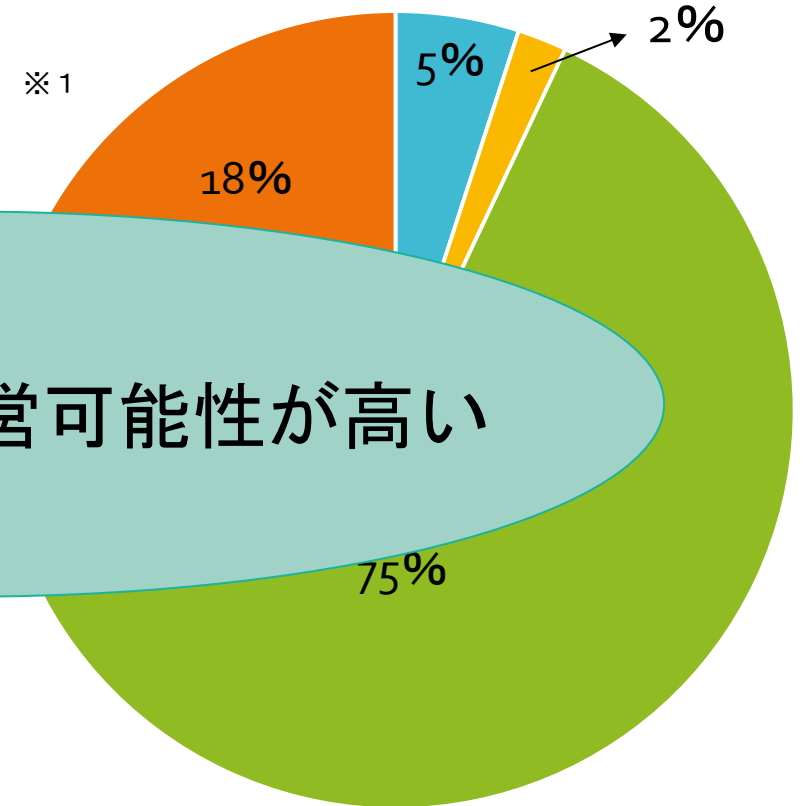


①ワークショップ運営編

子どもと一緒に何かを作った経験がある



ハンドメイドデザイナーのワークショップのお手伝いをしたことがある



大学生主体の運営可能性が高い

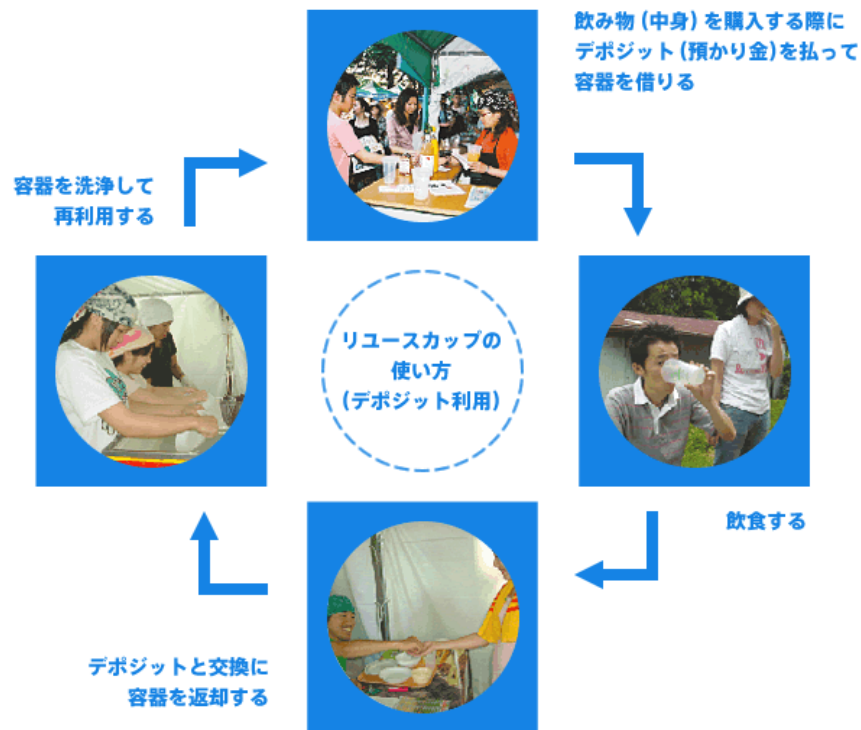
- 経験があり、機会があればまたしたい
- 経験はあるが、今は関心がない
- 経験はないが、機会があればやってみたい
- 経験も関心もない

- 経験があり、機会があればまたしたい
- 経験はあるが、今は関心がない
- 経験はないが、機会があればやってみたい
- 経験も関心もない

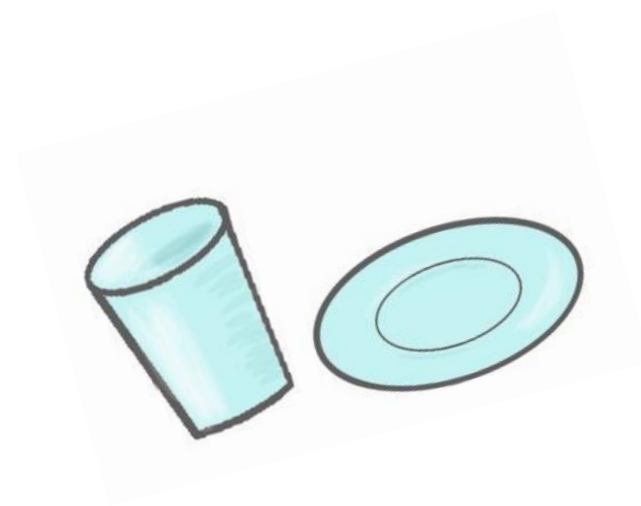
※1 令和元年9月14日から9月16日に山口大学生57名を対象に行ったアンケートより

② ごみゼロ 模擬店

リユース食器の導入（食器の再利用制度）



回収率を上げるために
デポジット制度の導入



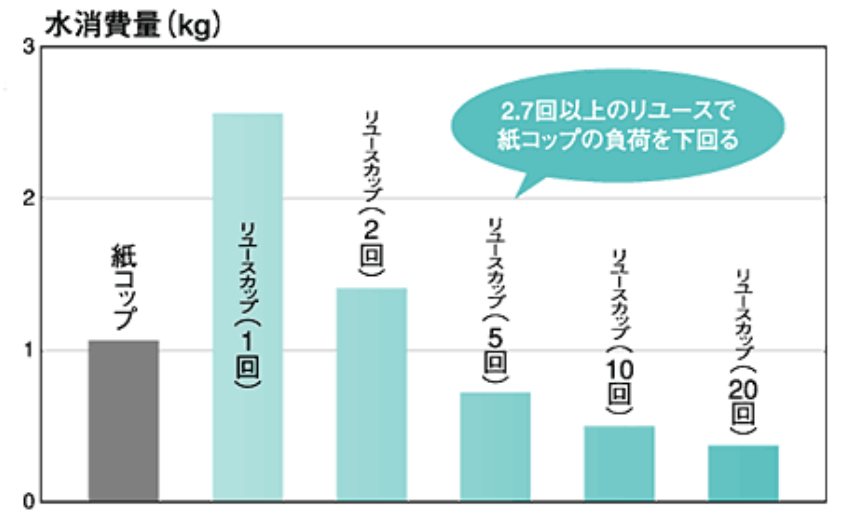
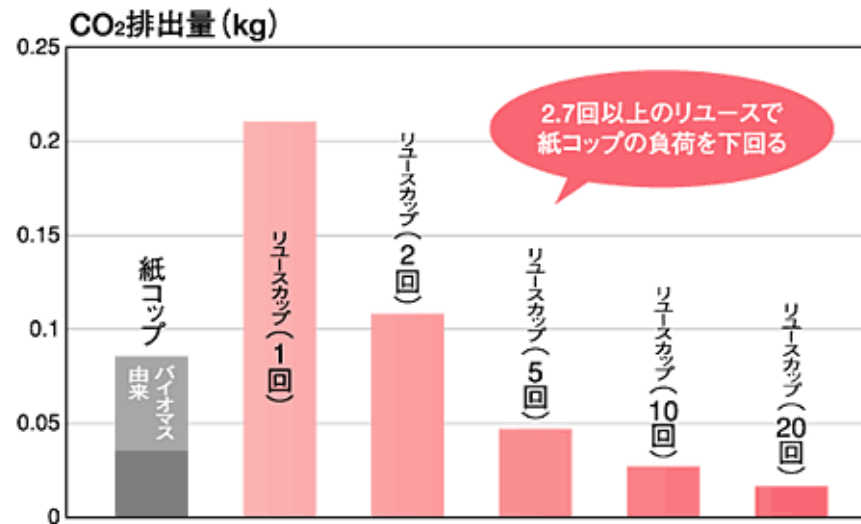
②
ごみゼロ
模擬店

得られる効果

繰り返し使用すればするほど

二酸化炭素排出量 水

の使用量の削減につながる



③ 不要品 交換会

- 学生がいなくなった参考書、教科書、専門用具などを
下級生、または受験生へ
- 市民が不要になった家具家電を山口大学生へ
- 古着をボランティア団体へ



「意識づけ」
を図るために

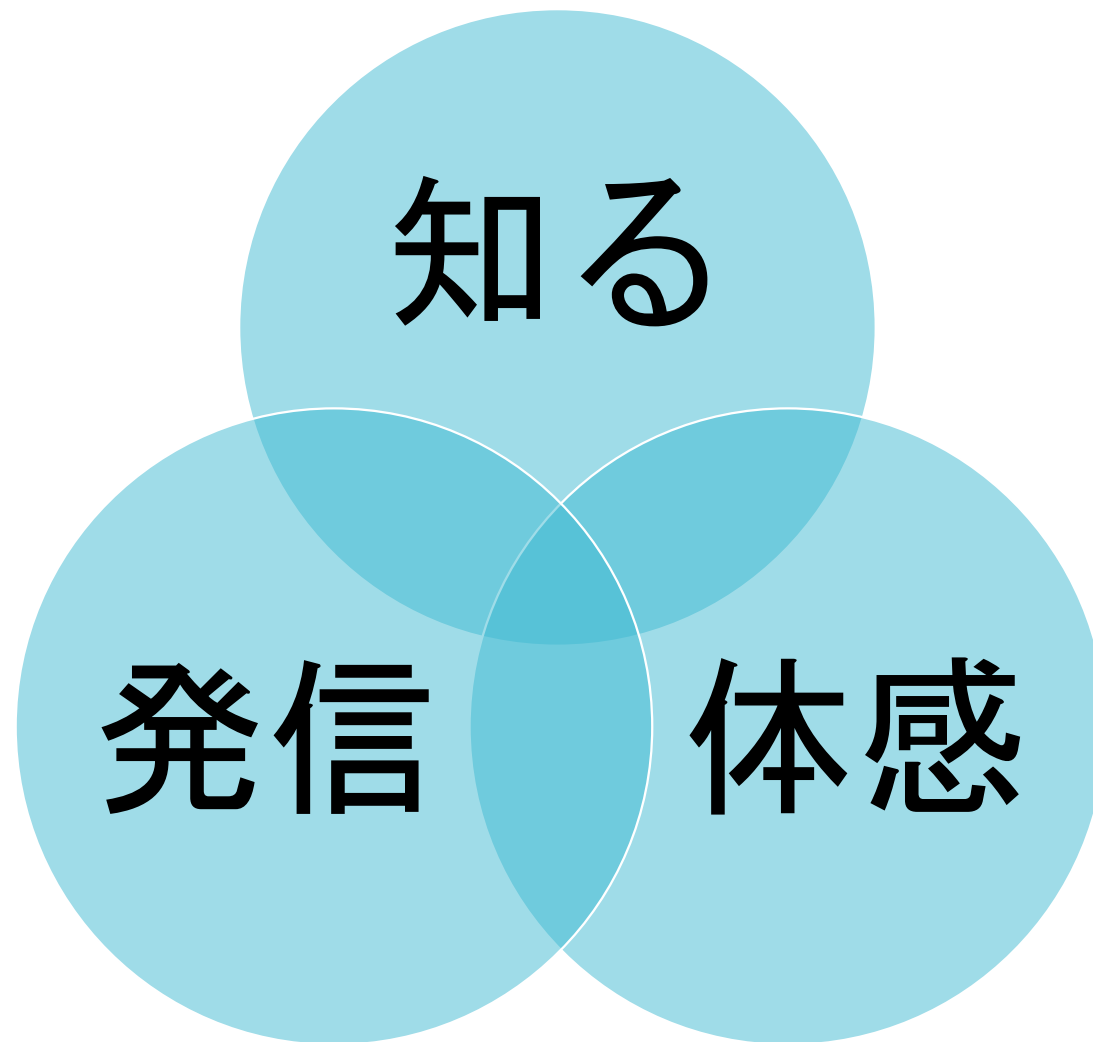
長期的、定期的な働きかけが重要

そのために

- ・ 企画をたくさんの方々に知ってもらう
- ・ 地域に根差した活動を図る
- ・ 自治体との連携

ゴミ問題に対して

考えられる
影響



参考文献

- ・ 3R推進協議会 2019.09.15

<http://www.3r-suishinkyogikai.jp/intro/3rs/>

- ・ 宇部市ゴミ排出量 2019.09.17

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kurashi/gomi/keikaku/documents/soukatuhyouh30.pdf>

- ・ リユース食器ネットワーク 2019.09.17

<https://www.reuse-network.jp/what/>

ご清聴ありがとうございました